

令和3年度

事業報告書

公益財団法人板橋区文化・国際交流財団

1 全体概要

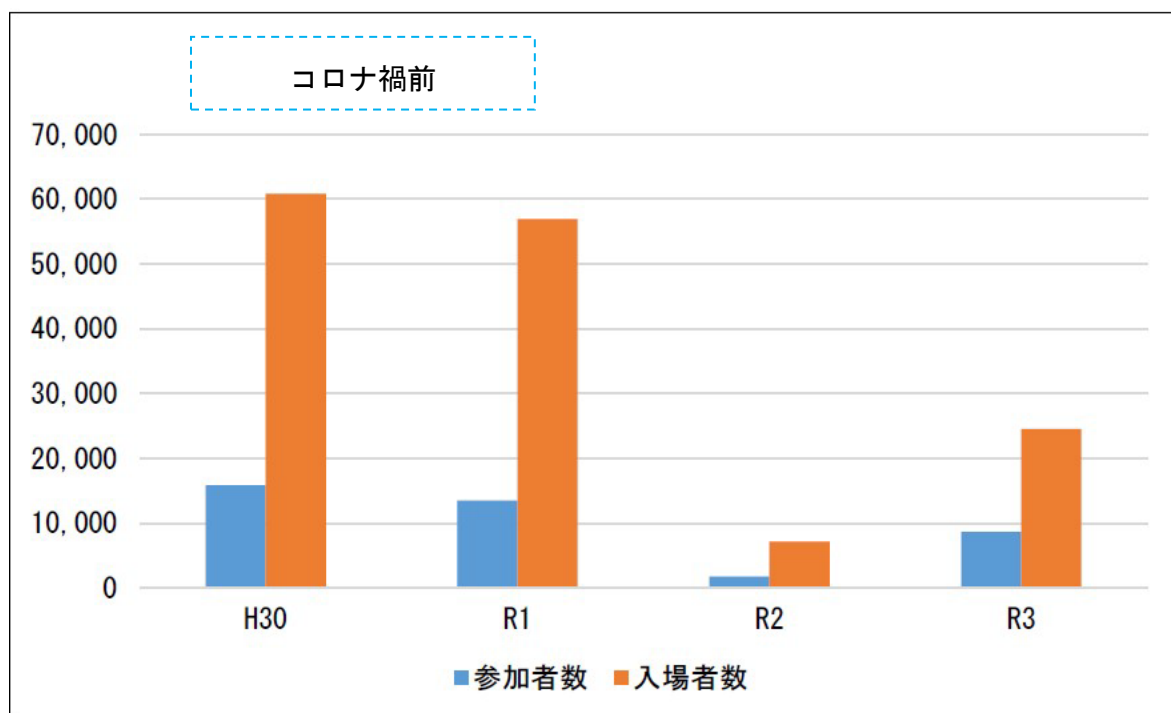
令和3年度は、長引く新型コロナウイルスの影響により当初の事業計画の一部見直しを余儀なくされたものの、イベント開催制限の緩和等により事業活動再開の兆しを感じられた1年となりました。

当財団では、文化の香り高いまちづくりに寄与するため、ウィズコロナ時代においてあらゆる方法を模索しつつ、地域文化の創造支援と国際相互理解を促進する取組を行いました。

・事業数、参加者数等の推移（事業数は計画事業数。増減はR2, R3年度比較。）

年度	文化事業			国際交流事業			合計		
	事業数	参加者数	入場者数	事業数	参加者数	入場者数	事業数	参加者数	入場者数
H30	45	12,759	60,396	21	3,061	470	66	15,820	60,866
R1	50	11,590	56,822	23	1,880	100	73	13,470	56,922
R2	54	954	7,030	22	819	100	76	1,773	7,130
R3	50	7,490	24,402	21	1,142	100	71	8,632	24,502
増減	△4	6,536	17,372	△1	323	0	△5	6,859	17,372

コロナ禍前に比べると、参加者数・入場者数とも低い水準となっていますが、新しい生活様式が定着してきたこともあり、回復傾向となっています。



2 各事業の実施状況

(1) 文化事業

① 区民参加型事業

【次世代の育成】

- ・「習い事はじめ 和太鼓講習会」は、会場の高島平区民館ホールが新型コロナワクチンの接種会場に指定されたことから、文化会館にて1日のみの開催となりました。同日に開催した「板橋太鼓まつり」の中で、発表会を行いました。
- ・青少年吹奏楽教室は、前年度に引き続き対面での集団レッスンを断念し、オンラインによる個別レッスンとなりました。
- ・区民文化講座Ⅱでは、板橋区を拠点に活動する「劇団銅鑼」による演劇ワークショップを行いました。
- ・新型コロナウイルスの影響で中止が続いていた「区民参加ミュージカル」は、3年ぶりに観客を入れて開催することができました。



【区民の文化活動の発表の場】

- ・ふれあいステージは、前年度に引き続き観客を出演団体の関係者に限定しての開催となりましたが、40団体971人の区民が活動の成果を発表しました。

【区民主体の質の高い音楽文化の振興】

- ・板橋区混声合唱団は、観客数と出演者数を制限しつつ、2年ぶりに2回の演奏会を開催しました。
- ・板橋区吹奏楽団は、例年人気を博しているポピュラーコンサートを第35回記念として2日間にわたり開催し、自慢のドリルステージを披露しました。
- ・第九演奏会は、演目を「ベートーヴェン交響曲第7番」に変更して実施しました。前年度に引き続き区民合唱団の出演は叶わなかったものの、区民の「第九を歌いたい」の声に応えるべく、次年度の出演に向けた練習会を行いました。



【区民オペラの振興】

- ・区民文化講座Ⅰ「オペラ」は、2年ぶりに対面での練習を行い、板橋区演奏家協会のオペラ公演に出演することができました。

【新進演奏家支援】

- ・板橋クラシックオーディションと合格者による新進音楽家フレッシュコンサートをを行いました。合格者には、板橋区ゆかりのアーティストとしてロビーコンサートでの出演機会も設けるなど、活動の機会を提供しました。



【短歌、俳句、川柳の振興】

- ・区民文芸の振興のため、区民投稿と選評を「広報いたばし」紙面にて年6回行いました。

・区民参加型事業の推移

(金額：千円)

年度	事業数	参加者数	入場者数	収入(千円)	支出(千円)	差引(千円)	収入率
H30	12	2,260	10,913	15,188	25,274	△10,086	60.1%
R1	12	2,195	9,597	14,405	23,370	△8,965	61.6%
R2	11	863	1,437	6,284	16,205	△9,921	38.8%
R3	11	1,498	1,633	8,808	20,349	△11,541	43.3%
増減	0	635	196	2,524	4,144	△1,620	4.5P

② アウトリーチ事業

【小学校等へ出張公演】

一部の小学校では、初めての試みとしてリモートでの演奏会を行いました。

画面を通してではありましたが、お互いにコミュニケーションを取り合うことができ、音楽の楽しさを共有できたひと時となりました。



【ロビーコンサート】

ロビーコンサートは、不特定多数の観客による三密を避けるため、区役所での開催を見合わせ、グリーンホール等で定員制限のもと実施しました。8月には、成増アクトホール前の広場でハワイアンソングとフラダンスのコンサートを行いました。



・アウトリーチ事業の推移

年度	音楽演奏会		落語		大道芸		混声合唱		ロビーコンサート		合計	
	回数	入場者数	回数	入場者数	回数	入場者数	回数	入場者数	回数	入場者数	回数	入場者数
H30	10	2,465	6	867	3	401	2	112	12	2,129	33	5,974
R1	8	1,850	5	385	2	125	2	120	12	2,430	29	4,910
R2	3	695	1	100	0	0	0	0	8	691	12	1,486
R3	10	1,233	5	443	0	0	0	0	12	1,007	27	2,683
増減	7	538	4	343	0	0	0	0	4	316	15	1,197

③ 文化の提供事業（主催公演事業）

低廉な料金で気軽に文化芸術を鑑賞し、心を豊かにする機会を提供するため、文化の提供事業(主催公演)を行いました。

前年度に比べ、観客の定員制限が一部緩和されたことなどから、入場者数の増加につながりました。

・主催公演事業の推移

(金額：千円)

年度	事業数	入場者数	収入	支出	差引	収入率
H30	6	6,266	21,560	17,334	4,226	124.4%
R1	6	6,517	21,506	20,033	1,473	107.4%
R2	8	2,440	7,095	13,688	△6,593	51.8%
R3	6	4,665	14,602	16,768	△2,166	87.1%
増減	△2	2,225	7,507	3,080	4,427	35.3P

【「落語のまち板橋」の特性と資源を活かす】

- ・「板橋落語会」は、計画どおり年3回開催しました。オンラインでも配信するハイブリッド公演としたことで、若い方などこれまで来場する機会がなかった客層に向け、落語文化の普及に努めました。
- ・「板橋名人寄席」は、インターネットでの有料配信や、区制施行90周年記念事業としての実施など、新たな取組を行いました。新型コロナウイルス感染による出演者の変更などがありましたが、無事2回開催することができました。



【次世代育成と子育て支援】

- ・例年好評を博している「劇団四季ミュージカル」を2年ぶりに開催しました。
- ・NHK「おとうさんといっしょ」ファミリーコンサートは、緊急事態宣言明けに実施したため、多くの子育て世帯が集まりました。
- ・区ゆかりのヴァイオリニスト松原勝也プロデュースによる「子どものためのコンサート」を開催しました。お子様の年齢に応じて0歳から楽しめる内容で、親子にとって親しみやすいコンサートとなりました。



【区を代表するアーティストの公演】

板橋区出身でロンドンを拠点に活動する「佐野優子ピアノリサイタル〜未来への架け橋〜」を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大により来日が危ぶまれましたが、生まれ育った板橋で無事開催することができました。



④ 文化の提供事業（共催事業）

区内の文化芸術団体が行う公演の支援、区民が良質な公演を低廉な料金で鑑賞する機会の提供、区や教育委員会と連携した文化芸術の振興を図るため様々な共催公演を行いました。

前年度中止となった区民文化祭などが開催できたこと等から、入場者数の増加につながりました。

年度	事業数	参加者数	入場者数	収入	支出	差引	収入率
H30	16	10,499	36,596	888	1,870	△982	47.5%
R1	22	9,395	35,798	2,148	1,195	953	179.7%
R2	25	91	1,667	13,941	15,664	△1,723	89.0%
R3	22	5,992	15,421	2,099	1,870	229	112.2%
増減	△3	5,901	13,754	△11,842	△13,794	1,952	△23.2P

【区内最大の文化芸術活動の祭典】

- ・板橋区、板橋区文化団体連合会との共催により、区民主体の文化の祭典「区民文化祭」を2年ぶりに開催しました。感染症対策により一部の催しは見合わせる事となりましたが、計17団体が区民とともに活動の成果を披露しました。

【区や教育委員会との共催事業】

- ・友好交流都市金沢市のジュニアジャズオーケストラJazz-21と帝京高校吹奏楽部との共演による「ジュニアジャズ交流ライブ」を3年ぶりに開催しました。久しぶりの交流再開となり、改めて友好を深めることができました。
- ・教育委員会との共催で「板橋音楽祭ジュニア」



「中学校演劇発表会」「i-youthダンスフェスタ」「説教浄瑠璃鑑賞会」を実施しました。「いたばしの芸能」「赤塚城戦国絵巻武者行列」は中止となりました。

【地域貢献団体との共催事業】

- ・「音楽の絵本コンサート」を板橋法人会との共催で2年ぶりに開催しました。
- ・「わんぱく相撲板橋区大会」「陸上自衛隊ふれあいコンサート」「リンテックふれあいコンサート」は、新型コロナの影響により中止となりました。

【地域の実演芸術団体との共催】

- ・板橋区演奏家協会との共催で、「ライブリーコンサート」「ファミリー音楽会」を実施しました。2年ぶりとなるオペラ公演では、板橋区が東京2020大会のイタリアバレーボールチームのホストタウンとなったことを記念し、プッチーニのラ・ボエームを上演しました。



©Koichi Mizushima

- ・板橋演劇センターとの共催で『宮沢賢治の短編童話集』等の公演を行いました。
- ・「劇団ふあんハウス」の公演『ぎ・クリーンキーパー』を共催で実施しました。
- ・板橋区のジュニアオーケストラを目指す「板橋ジュニア弦楽合奏団」の演奏会を共催で実施しました。
- ・板橋区和太鼓連盟と共催で「板橋太鼓まつり」を開催しました。
- ・劇団銅鑼との共催で、ひきこもりや無業者を対象にした「若者演劇ワークショップ」を開催しました。
- ・Art&Artsとの共催で、ディズニー映画の楽曲を題材にしたコンサート「Under a Spell II」を開催しました。

【地域の芸術文化の普及に寄与する共催】

- ・新しい童謡の創作と普及をテーマにした「童謡祭」を開催しました。
- ・子どもに人気のキャラクター「しまじろうコンサート」を行いました。
- ・「昭和歌謡」を客席で楽しむ「木山裕策と歌声カルテット」を開催しました。



⑤ 助成・顕彰事業

【文化芸術活動・スポーツ文化活動に対する助成、顕彰】

板橋区内で活動する個人や団体の活動に対して助成を行うとともに、優秀な成績を収めた区民を顕彰しました。令和3年度は、前年度に比べ東京2020大会など多くのスポーツ大会が開催されたため、スポーツ選手の活躍が目立ちました。

助成・顕彰事業の推移

(金額：千円)

年度	種別	助成事業			顕彰事業			
		文化部門	スポーツ部門	支出	文化部門	スポーツ部門	国際交流部門	支出
H30	個人	-	2件	192	12人	47人	-	1,303
	団体	1件	2件		2団体	8団体	2団体	
R1	個人	-	1件	230	16人	59人	-	1,534
	団体	1件	1件		2団体	9団体	-	
R2	個人	-	-	20	18人	23人	-	432
	団体	-	1件		2団体	3団体	2団体	
R3	個人	-	1件	969	19人	57人	-	902
	団体	6件	-		9団体	3団体	-	

【コロナ禍におけるアーティスト支援】

- ・活動の自粛を余儀なくされている区ゆかりのアーティストを支援するため、前年度に引き続き、「いたばしアーティスト応援キャンペーン」と題してイベント開催経費の一部を助成しました。



イベント開催経費助成実績

(金額：千円)

対象者	助成内容	助成件数	助成金額 合計
アーティストバンクに登録されている個人または団体	開催経費 30 万円上限 及び施設使用料	114 件	36,569

- ・「いたばしアーティスト応援キャンペーン」の一環として、「アーティストバンクいたばし」のPRパンフレットとリーフレットを作成し、区内の各施設や商店等に配布しました(パンフレット2,000部、リーフレット40,000部作成)。



⑥ 広報活動

- ・文化会館の公演情報や国際交流事業等を掲載した情報誌「ふれあい」を発行し、新聞折込や駅置き等により配付しました。
- ・区内商店にチケット販売を委託し、地元でもチケットが購入できるよう区民の利便性に配慮しました。
- ・SNS やフェイスブック広告を活用し、きめ細かな情報発信に努めました。

・広報活動の推移

(金額：千円)

年度	ふれあい 発行部数	チケット 販売店数	収入	支出	差引	収入率
R1	147,000 部	8 店	750	13,198	△12,448	5.7%
R2	147,000 部	8 店	688	11,140	△10,452	6.2%
R3	147,000 部	8 店	515	7,577	△7,062	6.8%
増減	0 部	0 店	△173	△3,563	3,390	0.6P

(2) 国際交流事業

① 国際交流事業

多文化共生の人づくり、コミュニケーション支援を目標として、ボランティアと協力して、11事業を行って参加者を増やすなど国際交流・理解を推進しました。

新型コロナウイルスの影響により、一部の事業が中止または変更になりました。

・国際交流事業の推移

(金額：千円)

年度	事業数	参加者数	入場者数	収入	支出	差引	収入率
H30	11	3,018	270	1,493	4,131	△2,638	36.1%
R1	11	1,749	0	1,232	3,031	△1,799	40.6%
R2	11	752	0	504	2,057	△1,553	24.5%
R3	11	1,100	0	714	2,340	△1,626	30.5%
増減	0	348	0	210	283	△73	6.0P

※平成30年度まで日本語スピーチ大会は入場者数にカウントしている。令和2年度のオンライン実施、令和3年度の会場とオンラインのハイブリッド開催は参加者数にカウントしている。

【コミュニケーション支援】

- 日本語教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を減らして実施しました。感染症対策を徹底し、対面で授業を実施しました（前期一部をオンライン開催）。
- ICIEF 日本語教室や区内日本語教室で活動する日本語ボランティアを対象にブラッシュアップ講座を実施しました。教授法ややさしい日本語を学び、日本語ボランティアのスキルアップを図りました。
- 多くの外国人が参加するスピーチ大会を有観客で実施し、オンライン配信も同時に実施しました。スピーチだけでなく、文化紹介（ハーフタイムショー）やアーティストバンク登録アーティストのパフォーマンスを取り入れ、来場者・視聴者から好評でした。



【国際交流・理解、多文化紹介】

- 国際理解教育では、JICA や国際交流ボランティア団体の職員を講師として派遣し、児童・生徒を対象に講座を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部が中止になりました。



- ・多文化紹介では、外国人のための日本伝統芸能鑑賞会、外国人のための日本舞踊講座を実施しました。日本舞踊講座の参加者はスピーチ大会で踊りを発表しました。
- ・ボランティアとの協働では、現在2団体と協働しています。1団体は、国際交流オンラインサロンを開催しましたが（一部中止）、もう1団体とは、コロナ禍での実施方法がまとまらず未実施となっています。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のチケットを活用した事業を実施予定でしたが、無観客のため中止になりました。代替事業として、日本語教室において日本語ボランティアによるパラリンピックをテーマにした特別講義を実施しました。



【生活支援】

- ・弁護士、行政書士、税理士等による専門家相談会と毎月の法律相談を電話またはオンラインで行いました。
- ・大東文化大学防災訓練、板橋区総合防災訓練に 外国人留学生、防災語学ボランティアが参加予定でしたが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。

② 姉妹友好都市提携に基づく事業

区の姉妹・友好都市であるボローニャ市、バーリントン市、北京市石景山区等との交流事業を行い、区民レベルの相互理解を促進しています。バーリントン市とは小学校作品交流や高校生文通交流を毎年継続しています。また、石景山区写真展を開催し、石景山区の街並みや風景を紹介しています。

令和3年度は、モンゴル国文化省・教育科学省との「文化・教育交流協定」締結25周年事業として、青少年オンライン交流イベントや文化紹介講座等を行いました。



・友好都市提携事業推移

(金額：千円)

年度	事業数	参加者数	入場者数	収入	支出	差引	収入率
H30	4	43	200	0	319	△319	0.0%
R1	5	131	100	0	1,975	△1,975	0.0%
R2	5	67	100	0	191	△191	0.0%
R3	5	42	100	0	256	△256	0.0%
増減	0	△25	0	0	65	△65	0.0P

③ 育成、援助等

区民による国際理解や国際交流活動を支援するため、日本語教室等を行う地域団体を助成しました。

・育成、援助の推移

(金額：千円)

年度	日本語教室	国際交流事業	支出
H30	6件	2件	595
R1	6件	1件	543
R2	6件	1件	325
R3	5件	3件	734

④ 広報活動

外国人に開かれた住みよいまちにするため、行政サービスや国際交流イベントの情報誌「アイシェフ・ボード」を4か国語併記（ルビ付日本語・英語・中国語・韓国語）で毎月1,800部発行しました。

また、財団ホームページに「新型コロナウイルスに関する情報」を掲載する特設ページを作成し、ワクチン接種や相談窓口をお知らせする記事を掲載しました。

そのほか区役所ロビーで多文化共生のパネル展示や情報誌「ふれあい」によって多文化共生に向けた情報発信を行いました。



(3) 区からの受託事業

行政サービスを多言語で案内するリーフレットを作成したほか、申請書の翻訳や区役所窓口での通訳者派遣や電話通訳により、外国人が円滑に行政サービスを受けられるように支援しました。

・受託事業の推移

年度	電話通訳※	通訳者派遣	翻訳	合計（件）
R1	-	108	100	208
R2	354(3,547分)	60	131	545
R3	426(4,873分)	39	118	583
増減	72(1,326分)	△21	△13	38

※令和2年度から導入

3 収支の概要

(1) 経常収支

財団の経常収支は、総収入額125,496千円、総支出額134,642千円、当期経常増減額△9,146千円となりました。対前年決算比では総収入が28,555千円の増、総支出額39,479千円の増となりました。令和3年度は、特定費用準備資金の取崩や過年度繰越金を指定管理者移行準備経費に充当したこと等により赤字となりました。

・経常収支の推移

(金額：千円)

年度	総収入	総支出	経常増減額	収入率
H30	102,812	94,131	8,681	109.2%
R1	103,569	97,922	5,647	105.7%
R2	96,941	95,163	1,778	101.8%
R3	125,496	134,642	△9,146	93.2%
増減	28,555	39,479	△10,924	△8.6P

(2) 特定費用準備資金の取崩

特定費用準備資金の積立取崩計画に基づき、令和3年度は文化オリンピックアード事業を実施するため、5,517千円の取崩しを行いました。

文化オリンピックアード事業では、東京2020大会の開催を記念し、板橋区混声合唱団及び板橋区吹奏楽団の演奏会において、オリンピック・パラリンピックや板橋区がホストタウンとなったイタリアにちなんだ演目を披露しました。

・特定費用準備資金の積立取崩状況

(金額：千円)

年度	積立額	取崩額	資金の活用用途
元年度	10,812	0	
2年度	0	0	
3年度	0	5,517	文化オリンピックアード事業
3～7年度	0	5,295	ボローニャ市友好都市交流記念事業

(3) 収支相償の判定

令和3年度の公益目的事業会計では、経常収益は111,916千円、経常費用は118,062千円、経常増減額は6,146千円の赤字となりました。これに令和2年度の収支相償判定における剰余金と、令和3年度の特定期間準備資金の取崩を含めた収支相償の判定では994千円の黒字となりました。当初予定されていなかった新型コロナウイルス関連の国庫補助金（文化芸術振興費補助金）収入等が黒字の主な要因です。

この黒字分は収支相償のルールに基づき、次年度へ繰り越して、公益目的事業の費用に充てていきます。

・公益目的事業会計の収支相償判定 (千円)

収入		費用		収入－費用
R2 年度剰余金	1,623			
R3 年度経常収益	111,916	R3 年度経常費用	118,062	△6,146
特定費用準備資金取崩	5,517			
合計	119,056	合計	118,062	994

(4) 経営計画の財務状況見込み

令和3年度決算の期末残高は55,159千円となり、「経営計画2021」最終年度の期末残高見通し41,354千円を大きく上回る結果となりました。

・「経営計画2021」の期末残高状況 (金額：千円)

年度	収入	支出	収支差	期末残高	経営計画2021 令和3年度 期末残高見通し
R3 決算	125,496	134,642	△9,146	55,159	41,354

※特定費用準備資金（文化振興事業積立資金）の積立金5,295千円を含む。

4 組織強化への取組

(1) 調査研究

全国公立文化施設協会アドバイザーによる財団組織強化の検討

全国公立文化施設協会アドバイザー松井憲太郎氏（富士見市民文化会館「キラリ☆ふじみ」館長）を招へいし、中期計画の策定等について検討しました。

(2) 職員研修

【文化係】

① 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修会

主 催 全国公立文化施設協会
日 程 R4年1月11日～2月28日※オンライン開催
受講者 9名
内 容 ・劇場・音楽堂等のあり方ーコロナ禍から再生に向けてー
・ウィズコロナ下における文化芸術団体との連携に向けて など

② 公益法人運営・会計セミナー

主 催 公益法人協会
日 程 R3年6月22日、23日、7月2日
受講者 2名
内 容 公益法人のルール など

③ 経理事務基礎研修

主 催 経営戦略研究財団
日 程 R3年9月2日～10月1日※オンライン開催
受講者 1名
内 容 経理1年生の基礎知識 など

【国際交流係】

① 多文化共生コーディネーター研修

主 催 東京都つながり創生財団
日 程 R3年10月7日※オンライン開催
受講者 1名
内 容 東京都外国人材受入施策、外国人の労働問題

② 地方公共団体職員外国人施策推進研修

主 催 出入国在留管理庁
日 程 R3年11月24日※オンライン開催
受講者 1名
内 容 在留制度、多文化共生の実現に向けた取組、やさしい日本語、受入
環境整備交付金

③ 東京都国際交流団体連絡会議研修会

主 催 東京都国際交流団体連絡会議
日 程 R3年11月30日※オンライン開催
受講者 1名
内 容 災害多言語支援センター運営の経験から学ぶ情報提供の流れ

④ ボランティア・NPO 団体応援講座（地域における多文化共生のいま）

主 催 いたばし総合ボランティアセンター
日 程 R3年12月17日

受講者 1名

内 容 外国にルーツのある方の現状と課題、これからのかかわり方

⑤ 災害時外国人支援×やさしい日本語研修

主 催 東京都つながり創生財団

日 程 R4年1月21日※オンライン開催

受講者 1名

内 容 熊本地震に学ぶ災害時の外国人の脆弱性とやさしい日本語の活用

(3) 職員採用

財団職員の専門性と継続性の強化を図るため、令和3年4月1日付で財団固有2名の職員（公立文化施設従事経験者1名、大学新卒者1名）を新たに採用しました。